

八ヶ岳通信

総合博物館

長着の仕事着（自家織り）

昭和二十年代頃まで着られて
いた、女性の普段着。

おじいちゃんやおばあちゃん、お父さんやお母さんにはなじみのある、少し昔の着物がいくつもあることでしょう。ぜひ、お孫さんやお子さんと一緒にご覧いただき、なつかしい思い出を伝えてあげて下さい。

火消しの帽子とはっぴ

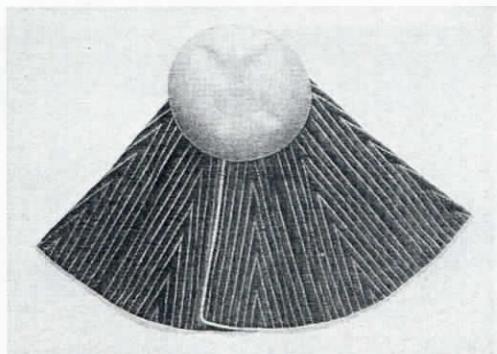
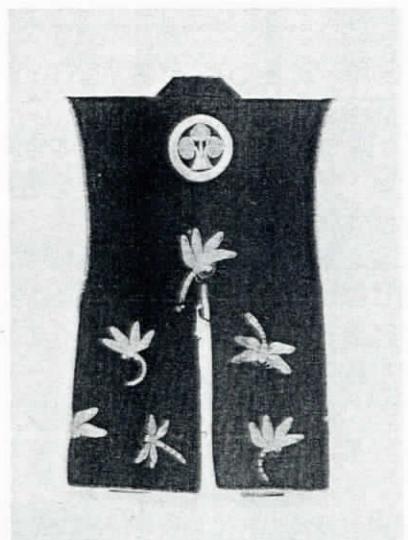
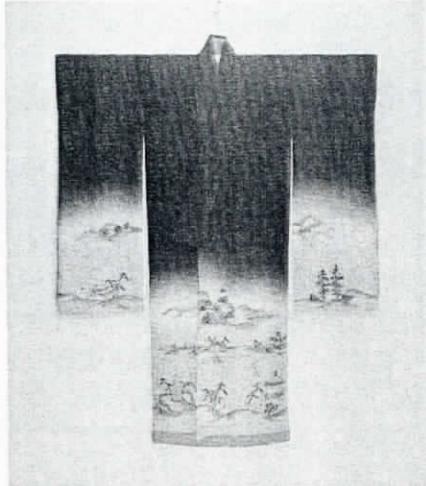
昭和の中頃まで使われた。
刺し子が施され、厚地である。
これらを着て、水をかぶり、
火中へ突入した。



民俗資料収蔵品展
10月16日(土)～11月14日(日)

「着る」

—明治・大正・昭和にみる
衣服の移り変わり—



花嫁衣装の打ち掛け

明治時代のもの。美しい裾模様があり、身頃の裾には厚い綿が入っている。

綺羅の陣羽織り

江戸～明治時代、玉川穴山などで年に一度盛に催された村芝居の衣装が「綺羅」である。大変高価で、江戸から購入していた。

綱笠と合羽

江戸～明治時代、主に中馬(馬で荷を運ぶ)の道中で着用した。合羽は防寒用。

尖石周辺の考古学調査

現在茅野市では、ほ場整備事業、工業団地、住宅団地をはじめ様々な開発が盛んに行われており、それらの開発行為に伴う遺跡の発掘調査も増加しています。今回は尖石考古館周辺で行われた試掘調査と発掘調査を2例紹介します。

尖石遺跡の試掘調査

国の特別史跡である尖石遺跡の史跡整備のための試掘調査は、今年で4年目となりました。過去3年間の試掘調査の様子はこの八ヶ岳通信でも紹介し、また、報告書も刊行されています。それによると、初年度の平成2年には遺跡の西端を、3年には遺跡の北西端を、4年には遺跡の東端を確認する調査を行い、それぞれ多くの成果を得てきました。そして今年は遺跡の北東部分の遺跡の広がりについて調査を行いました。調査した面積は、北東部分が2m四方のグリッドを52カ所208m²、中央部分が14カ所56m²、計264m²です。

平成2年に行った遺跡北西部の調査で、縄文時代中期初頭の住居址が2軒発見され、住居址の分布が遺跡の北端にまで及んでいることが確認されました。隣接する今回の北東部分の調査では、縄文時代の中期中葉から後半までの住居址が多数発見されました。

調査した尖石遺跡のある尾根の北側斜面は、今ではかなりの傾斜で与助尾根遺跡のある尾根との間の谷に落ちていますが、発見された住居址の分布から縄文時代にはこの谷はもっと浅く、傾斜も緩やかであったものが、浸食や水田を作るときの削り取りによって現在の急傾斜になっていたのではないかと想像されます。

また、広場と考えられている中央部分も調査しましたが、調査区域の南側で住居址が3軒発

見されています。

今回の住居址と遺物の多さは特に目を見張るものがあり、出土土器も特別史跡の名に恥じない優品ぞろいです。現在出土した遺物の洗浄を終わり、復元作業を行っている最中で、近日中に考古館に展示される予定となっています。



尖石遺跡の遺物出土状態

与助尾根南遺跡の調査

与助尾根南遺跡は尖石遺跡と与助尾根遺跡の中間にある小さな尾根にあります。過去に与助尾根遺跡への見学路敷設、尖石考古館建設、青少年自然の森駐車場造成のため3回にわたって調査が行われ、縄文時代の住居址5軒と平安時代の住居址1軒が発見され、調査が行われています。

今回の調査は考古館の東隣の場所で、市内の遺跡の調査・研究・収蔵を行う埋蔵文化財調査センターを建設するため、事前に遺跡の発掘調査をするものです。調査の面積は約1,160m²でした。

発見された遺構には縄文時代中期後半の住居址2軒と土坑1基があります。縄文時代の人々が移動する際にほとんどの遺物を持っていってしまったようで、出土した遺物の量はごくわずかなものでした。



尖石遺跡の試掘調査



与助尾根南遺跡の調査

ちょっとお出かけ——あなたは何を持って?
カメラそれともビデオ?

～スケッチ講座から～

世の中が変って、働いている人も仕事以外の時間を持つことができるようになり、あるいは持てるのをえなくなっていました。そんな時間を、あなたはどう使っておられますか?

太り過ぎや健康のことを考えてスポーツでしょうか、読みたい本や調べ物があって、じっくり読書でしょうか。そんな中に加えていただきたいのがスケッチです。

今や旅の思い出や子供の成長は、写真よりビデオで残そうという人が増えています。世の中何かと「簡単、早い」が主流と言えばそれまでですが、ちょっとひと息入れてみてください。スケッチのモデルは、身の回りの品から自然まで、あらゆるものの中から選ぶことができます。

今回のスケッチ講座は、講師に篠原昭登氏(日展会友・一水会会員)を迎える、6月11日から7月9日までの間、1回の野外スケッチを含め、6回にわたって行いました。

講座のねらいを、「スケッチを楽しむ人生へのスタート」「写生から心のあるスケッチ・心のある絵へ」として、始めに、絵をかいて楽しむスケッチ・取材としてのスケッチ・ウォーミングアップとしてのスケッチ、などいろいろなスケッチについて学びました。

次に、平凡などこにでもある身近なものから出発し、モデルの選び方・スケッチの機会、形や質感など特徴の表現を学び淡彩の実技に入りました。ここでは、紙の大きさと絵とのつり合い・形の重なり・大小・方向(動き)、混色・重色・にじみの活用を学んで絵はがきを作りました。

スライドを見ながら、自然のスケッチでは、



教室でのスケッチ

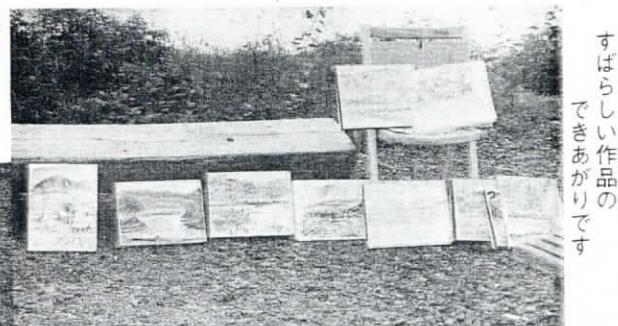
何に感動し何を描くか—中心・主題、どのように用紙にいれるか—構図、加えて、暑さや寒さ・風対策など野外での一般的注意も教わり、日曜日の屋外スケッチとなりました。

さいわい天候にも恵まれ、参加者の日ごろの努力と素質、講師の的を射た助言や指導により、それぞれ素晴らしい作品ができました。

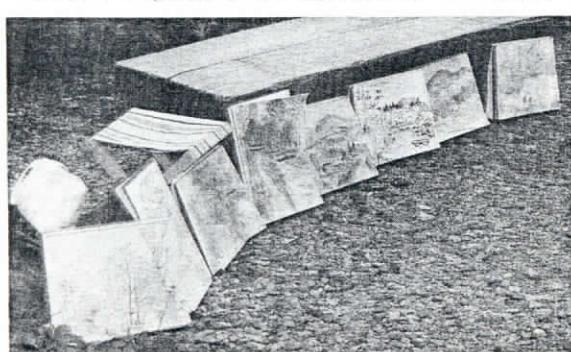
講座は終りましたが、講座参加者の有志による会がつくられ、「写生から心のあるスケッチへ」、研鑽を積んでおられます。

映像や写真にはない、個性豊かな描き手の感動を、身近なところから伝えていっていただきたい。

美術館では毎年、すぐれた作品を展示している他の美術館の鑑賞会や、実技講座を実施しています。これらは、参加される方々があって、はじめて成り立つ行事です。



市の美術展に出品したり鑑賞していただくこと、図書館に本を借りに来たついでに、美術館をのぞいていただくことなど、皆さんの中との時間のお手伝いができるれば、と考えています。



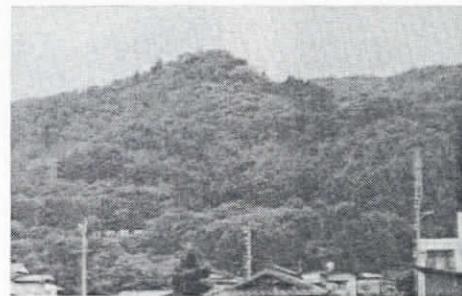
神長守矢満実・頼真と山城

守矢文書の中に、中世の山城について伺い知る事ができるものがある。

神長守矢満実書留には次の様に記されている。
文明15年（1483）1月8日に前宮の「神殿」
(大祝の居館、今の社務所の辺)で、大祝諭訪
継満が、惣領家の諭訪政満一族を謀殺する事件
があった。15日に継満らは「千沢城」に上って
立てこもった。2月19日惣領方の軍勢がそこへ
「責上」った。合戦もなく
継満らは、重病の老父のみ
残して伊那へ逃げた。老父
以外討ち死にした者はいな
かった。

翌20日、惣領方の神長満
実は、子の神平・神二郎や
昨日の武士と共に上桑原へ
移った。3月10日には「神
長高鳥屋城の小屋に上りて住居す、在所に引替
えて、栖家見ぐるしき有様衰れなり」とある。

3月19日、下社勢が攻めて来て、一同は高鳥
屋城を下って戦った(高鳥屋城=鷹戸屋城=桑
原城)。5月に継満が伊那から攻め込み「片山



上原城跡(頂上が城跡 看板の所が屋形跡)

古城」(武居城)に入り。惣領勢は千沢城に「
馳籠」った。この戦いの結果は記されていない。

満実の曾孫である頼真の書留では、天文11年
(1542)6月28日、武田信玄の侵入により、「
上原にて」ほら貝や鐘が鳴ったので、頼真是^も
足に身を固めて「上原へ」駆けつけた。結局、
諭訪勢は敗れ、「大将」諭訪頼重は7月2日に
「桑原へ移り」上原の「御屋形に火をかけ」た。

3日に「頼重は桑原の城へ
のぼ」った。神長頼真も一
緒である。最後は20人ばかり
になって、4日に「城を
ひら」いた(退去した)と
ある。

頼真是上原のことについ
ては、城へ上ったとは記し
ていない。

これら2人の書留からこの地方の中世の山城
は、有事の際に使われたものであるが、防御に
はそれほど堅固ではなく、小屋の様な建物であ
った様子や、普段住む屋形は麓にあったこと等
がわかる。

これから開催します

＜八ヶ岳総合博物館＞

民俗資料収蔵品展「着る」

…10月16日(土)～11月14日(日)

小講演会…10月31日(日) 午後1時30分～

『小動物の生活』両角源美先生

11月のロビー展…7日(日)一小鳥の餌台作り

14日(日)一はた織り 21日(日)一簾細工

午前10～12時・午後1～3時

(平常入館料と材料費が必要)

星空観察会…11月6日(土) 午後7時～

第5回市内小中学生研究・創意工夫展

…11月27日(土)～12月12日(日)

冬の探鳥会…12月12日(日) 諭訪湖畔でカモの仲

間やコハクチョウなどを観察

古文書解説講座…1月15・23・30日, 2月5・13・

20・27日, 3月6日(予定) 講師: 細田貴助先生

※博物館は、月曜日と祝日の翌日が休館日です。なお、

11月25・26日は臨時休館します。また、特別展やロビ
ー展は、平常入館料で見学・参加いただけます。

＜尖石考古館＞

縄文土器製作教室(野焼き)…10月17日

＜美術館＞

第13回茅野市小中学生作品展

・絵画の部…11月5日(金)～11月24日(水)

・書写の部…1月23日(日)～2月8日(火)

火曜会展(絵画サークルの作品展)…

…11月30日(火)～12月5日(日)

茅野市の博物館だより 八ヶ岳通信 No.9

発行年月日 平成5年10月15日

編集・発行 茅野市八ヶ岳総合博物館

〒391-02 茅野市豊平6983番地

TEL. (0266) 73-0300

茅野市尖石考古館

〒391-02 茅野市豊平4734-132

TEL. (0266) 76-2270

茅野市美術館

〒391 茅野市玉川1500番地

TEL. (0266) 73-5440

茅野市神長官守矢史料館

〒391 茅野市宮川1389番地の1

TEL. (0266) 73-7567